



ナーシングスキルで

HIVの基礎知識・HIV/AIDS患者の看護を

視聴しましたか？

当院は、北海道エイズ治療ブロック拠点病院であり、外来や各病棟での対応が必要となるケースがあります。2022年2月からナーシングスキルでHIVの基礎知識・HIV/AIDS患者の看護の視聴が可能となっていますので、是非、視聴してみてください。

<HIV患者さん向けACC (AIDS Clinical Center) ノートのご案内>

患者さんへの指導には、毎年更新されている

『からだ・こころ・くらし・くすりノート』を活用しています。

HIV感染症や薬、感染予防、メンタルヘルス、医療費自己負担の軽減制度についてなど分かりやすく掲載されています。

内科外来には、最新の物が常備されていますので、お声がけください。



第36回 日本エイズ学会学術集会

月日：2022年11月18日～20日 場所：アクトシティ浜松

主催：一般社団法人日本エイズ学会

HIV感染症の新しい治療法である注射薬剤ができました！

学会のトピックスとして、抗HIV治療における初の長時間作用型注射剤が話題になりました。多くの患者さんは、1日1回から2回、毎日かかさず薬を飲み続けなければいけませんでしたが、それが現在は、1ヶ月に1回、もしくは2ヶ月に1回だけ注射することで、毎日内服する必要のない新しい治療薬が使用出来るようになりました。

通院期間が短くなる、注射が苦手な方など、この治療法が向かない方や使用出来ない方もいますが、飲み忘れが多い方や1ヶ月または2ヶ月に1回受診することが出来る方にとっては、希望したい方が増えていく可能性があります。

HIVセンター看護師会メンバー

香西副部長（看護部管理室）

宮越看護師長（内科外来）

松田看護師長（北10階病棟）

佐々木看護師長（南2階病棟）

杉山看護師長（NICU・GCU病棟）

稼農看護師長（西7階病棟）

茶谷副看護師長（南2階病棟）

多羽田副看護師長（南4階病棟）

稗田看護師（内科外来）

【HIVに関する相談】内科外来（内線32770） 宮越、稗田